

市長の目指す 未来の昭島市について問う



自由民主党昭島市議員 三田 俊司 議員

質問 新型コロナウイルス感染症対策が急務である中、市政運営の基本方針について、①ワクチンの接種に向けた現時点での準備状況は。②市民の利便性と業務の効率化のため、行政のデジタル化をどのようにスピード感を持って進めていくのか。

市長 接種券の発送準備をはじめ、ワクチンの保管や配送方法など準備に万全を期しており、医療機関と連携を図り、取り組みを進めている。②デジタル化推進に特化した組織を新たに構築し、今後あるべき社会を

見据える中で推進していく。質問 財政見直しについて、①複雑化・多様化するニーズに対し、時には大きく攻める自治体経営も必要と考えるが、所見は。②多様な広域化する行政課題に対し、広域連携の推進や産官学連携を更に強化する考えは。

市長 ①市民の命と健康、生活を守るため、果敢にチャレンジし、職員一丸となつて市政運営を行っていく。②多様な主体との連携による対応は大切な視点であり、取り組みを推進していく。質問 予算編成の大綱と主要な施策に関して、①市民交流センターの更新について、広告物掲示による財源確保や指定管理者制度による施設運営などにより、最

少の経費で最大の効果を生み出す考えは。②清掃センターの今後に向け、処理方法についての基本的調査を実施することだが、将来の在り方に対する考えは。③東の玄関口である昭島記念公園昭島口の拡幅と周辺整備について、これまで以上に国へ働き掛けていくべき。④深刻な影響を受けた中小企業等への支援を継続することだが、地域経済の回復と市内産業の活性化に向けた具体的な施策は。

市長 ①自主財源の確保や市民サービスの向上を前提に、運営について多角的に検討していく。②ごみ処理に滞りがないよう、今後の清掃センターの在り方について、有効な活用方法に関する調査を行い、既存ストックの有効活用による財源確保に向けた取り組みを進めていく。

質問 教育の推進について、令和3年4月からオンライン授業を開始できる体制を整え見通しなのか。質問 オンライ授業の実施は現在研究段階にあり、効果的な活用の在り方について検討を深め、できるところから始めていきたい。質問 自然災害に備え、民間と協力し、長期間にわたる避難生活を送れる滞在型の避難所を確保しては。市長 平時より市内のホテル等と調整を行い、長期避難を見越した避難所の確保に努めていきたいと考える。質問 単身高齢者が自身の死後の葬儀等について、ワンストップで相談できる総

令和3年度施政方針について



公明党昭島市議員 赤沼 泰雄 議員

質問 平和への思いについて、戦争の悲惨さなどを伝えていくため、長崎市の被爆クスノキの苗をふさわしい場所に植樹する考えは。市長 次世代に平和への思いを伝えていく手法の一つとして有効と考えており、今後の検討課題としたい。質問 住民サービスを維持するためには、事務手続きの簡素化やAIの活用は必要不可欠である。デジタル

化の推進について、人材の確保への取り組みは。市長 デジタル戦略に特化した組織を新たに構築するとともに、ICT人材の確保についても引き続き検討していきたく考えている。質問 公共施設の老朽化への対応は喫緊の課題である。公有財産の利活用に向けた調査を行うとのことだが、具体的な取り組みは。市長 複数の公有財産につ

いて、有効な活用方法に関する調査を行い、既存ストックの有効活用による財源確保に向けた取り組みを進めていく。質問 教育の推進について、令和3年4月からオンライン授業を開始できる体制を整え見通しなのか。質問 オンライ授業の実施は現在研究段階にあり、効果的な活用の在り方について検討を深め、できるところから始めていきたい。質問 自然災害に備え、民間と協力し、長期間にわたる避難生活を送れる滞在型の避難所を確保しては。市長 国や都において、電気自動車購入に対する補助金の増額が予定されており、動向に注視していきたい。質問 東中神駅北口から昭島市街にかけて、今後の活性化について、取り組みは。市長 昭島記念公園昭島口

周辺に拡張に向け、引き続き、国土交通省及び財務省に対して、要請していく。質問 プレミアム付商品券事業を行う区市町村に対して、都が費用の一部を負担する事業に取り組む考えは。市長 都の事業を活用した効果的な消費喚起策について、検討していきたい。質問 深層地下水流動調査について、現時点で把握できていることは。市長 現時点では測定結果を分析中であり、最終結果をもつて報告したい。質問 いじめ問題防止会議が設置され、7年ほどが経過したが、今後の課題は。質問 校長会等でのいじめ防止に向けた取り組み推進の周知徹底を図るとともに、昭島市いじめ問題対策委員会を充実させ、いじめのない学校づくりを進めていく。

1面下段より

市民が文化芸術に接する機会につながるのでは。質問 あきしま市内芸術家公募展をはじめとして、周知に努めていきたい。質問 メンタル疾患で休職した職員が復職後、再発することを防ぐような配置を考えるという視点が重要であると考えますが、所見は。質問 様々な状況を考慮し、今後も職員が辛い状況に陥らないよう、職場環境や配置について考えていきたい。質問 生活困窮者自立支援事業における子ども学習支援について、①現状は。②課題に対する認識は。質問 令和2年度は、1月までで、延べ162人が参加した。②現在、緑会館のみで実施しており、地域が限定されることなどが課題と認識している。質問 生活保護の不正受給により、制度へのバッシングも起きたが、ごく一部のケースであると考え。不正受給に対する認識は。質問 毎年、課税調査等で収入状況を確認しており、今後もケースワークの中で調査を徹底していきたい。質問 可燃ごみ処理施設整備計画策定について、清掃センターの自区内処理は、選択肢に入っているのか。質問 基本調査の結果を踏まえ、最新の技術動向等を判断材料として検討しているため、現在の方針は決まっていない。質問 感染症対策に伴う子どもへの育ちに及ぼすマイナスの影響の懸念に対し、安心できる発信をする考えは。

日本共産党昭島市議員

質問 横田基地に関する騒音被害に対し国の補助金で施設修繕等を行っているが、公共施設を拡充する考えは。質問 国の交付金を活用し、市立会館の整備や修繕等を行ってきたが、施設配置等は市域全体で適切に検討すべきであり、現時点で市立会館等の増設の考えはない。質問 ケースワークが面接予定だったが、会えなかった生活保護受給者が死亡していた事例がある。市民の暮らしに寄り添う姿勢を持つべきでは。質問 ケースワークにおいては、本人の状況等も踏まえながら、本人に寄り添った個別の対応に努めている。質問 PCR検査センターの設置について、開設日時などを拡充すべきと考えますが、所見は。質問 新型コロナウイルスワクチンの接種体制を確保する中で、PCR検査センターの検査状況を踏まえ、調整を図った結果である。質問 学習支援員について、有償ボランティアではなく、会計年度任用職員として採用すべきでは。質問 会計年度任用職員で採用の自治体もあり、今後研究していきたいと考える。質問 学校のプールの在り方について、検討していく必要があるのではないか。3面下段へ続く